

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	歴史まちづくり推進担当担当課長 不破寛和	
歴史-02 歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 歴史まちづくり推進担当 関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的風致
意図	鎌倉市歴史的風致維持向上計画を策定するとともに、策定後は計画に基づく事業を実施するため。
効果	歴史的遺産と共生するまちづくりの視点に立った基本計画の策定により、鎌倉らしさを生かしたまちづくりに資する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

鎌倉市歴史的風致維持向上計画を策定し、その推進を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	1,581	4,364	当初予算(千円)	313			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	1,581	4,364	一般財源	313			
事業運営	人員配置数	2.0	2.0	人員配置数	0.5			
	人件費(千円)	15,010	15,308	人件費(千円)	3,885			
	総事業費(千円)	16,591	19,672	総事業費(千円)	4,198			
	市民1人当りの経費(円)	93	111	市民1人当りの経費(円)	24			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由			

総評(評価に対する考え方、根拠等)	歴史的風致維持向上計画の推進を通じて、「歴史的遺産と共生するまちづくり」を進めていく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	歴史的風致として取り上げた多数の社寺や関係団体との内容調整を行い、了解を得る必要がある。また、計画に登載する構成事業の選定を行う必要がある。
課題解決のために行った平成27年度の取組	社寺や関係団体と連絡を取り、内容の調整を行った。また、事業実施に向けては関係各課と調整を行った。
未解決の課題、新たな課題とその理由	鎌倉市歴史的風致維持向上計画の構成事業の中でどの事業を優先的に取り組むべきか、庁内の関連部署との連携を図るとともに、実施計画にどのように位置付けるかを検討する必要がある。

- 解決
- 一部解決
- 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	歴史的風致維持向上計画を策定している自治体								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	100.0%				100.0%				
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	日本を代表する古都であり「歴史的遺産と共生するまちづくり」を推進する鎌倉市にとって、歴史的風致を維持向上させるための計画を策定し、確実に取り組んでいくことが必要である。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	計画に登載した構成事業の進捗率	単位	%	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
構成事業を確実に実施することで、歴史的風致の維持向上を図るため。	目標値	-	-	10.0	20.0	30.0	40.0
	実績値						
	達成率						
指標の内容	歴史的風致形成建造物の指定	単位	件	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
歴史的風致形成建造物を指定することで、歴史的風致の維持向上に資するため。	目標値	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	歴史的風致維持向上計画の計画期間は平成28年度から平成37年度までの10年計画とする予定であるため、上記指標の設定にあたっては平成37年度を見据えた設定としている。						

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---